deviceSTYLE

取扱説明書
《保証書付》

ESPRESSO MACHINE
TH-W030
エスプレッソ マシン

Brunopasso

使用できるカフェポッドの規格について

本機で使用できるカフェポッドは 直径44mmのカフェポッドです。
規格外のポッドは使わないでください。

44mm JAPAN CAFE POD™

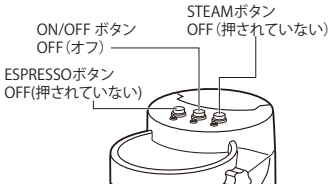
ご注意!!

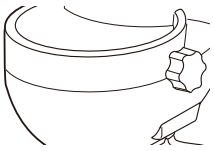
【動画】をご参照ください ▶▶

ご使用の前に必ず実施してください。

実施されないでご使用された場合、
本機の故障の原因となるおそれがあります。

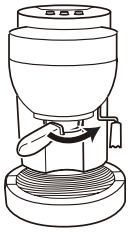
①ON/OFFボタンがオフ（OFF）にセットされていること、ESPRESSOボタンとSTEAMボタンが押されていないことを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

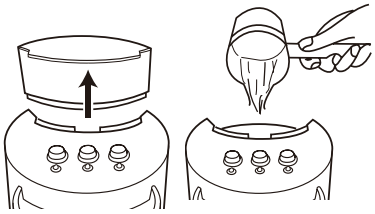




②蒸気調節つまみが完全に閉まっていることを確認してください。（時計回りに、つまみが止まるまでしっかり回してください。）

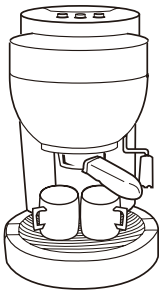
③ホルダーをセットします。
（ホルダーはエスプレッソ用・カフェポッド用の2種類がありますが、どちらを使用しても構いません。）

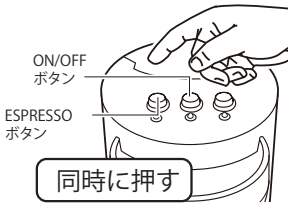




④ウォータータンクカバーをはずしてウォータータンクに水を入れ、ウォータータンクとウォータータンクカバーを元通りに取り付けます。

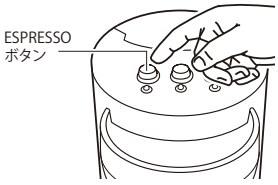
⑤トレイカバーの上にカップをセットします。





⑥ON/OFFボタンとESPRESSOボタンを同時に押し、電源をON（オン）にすると同時に抽出を行います。

⑦200mL ほどお湯が抽出されたら再度ESPRESSOボタンを押して抽出を止めます。



以上で内部が洗浄され、抽出準備の完了です。

※ 長時間使用しない場合や、エスプレッソマシンから離れる場合は必ず電源をOFFにしてください。

2. はじめに

このたびは、ハイブリッドエスプレッソコーヒーメーカーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本機は、コーヒー粉および直径44mmのカフェポッドでのエスプレッソ、カプチーノなどをご家庭で手軽に作ることができます。また、エスプレッソ用ポンプは高性能15気圧のポンプを使用しています。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は大切に保管してください。

付属品をご確認ください

本機には下記の付属品が同梱されています。付属品を見落とさないようにご確認ください。
（付属品は６ページの図をご参照ください。）

付属品
金属フィルター、クレマメーカー（クレマカバー、クレマディスク）、エスプレッソパウダー用ホルダー、カフェポッド用ホルダー、計量スプーン / タンパー

ご注意

本機は日本国内専用です。交流 100V 以外のコンセントには接続しないでください。
本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。
また、たこ足配線は絶対にしないでください。電圧が下がり正常に動作しなくなる恐れがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記の
デバイスタイル　カスタマーサポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問い合わせ・修理品の送付先》

デバイスタイルカスタマーサポートセンター
0570-067788
email：customer.support@devicestyle.co.jp
URL　：http://www.devicestyle.co.jp/

お問い合わせは弊社ホームページの「お問い合わせフォーム」が便利です。

受付時間：月曜～金曜9時30分～17時30分（年末年始、夏季休暇を除きます。）

もくじ

はじめに	2.
もくじ	3.
安全上のご注意（必ずお読みください）	4.
使用上のご注意	5.
各部の名前	6.
本体	6.
付属品	6.
準備	7.
ご使用の前に（必ず実行してください）	7.
コーヒーを淹れる前に必ず確認してください	7.
ウォータータンクを取り付けます	7.
エスプレッソコーヒーの淹れかた	8.
ホルダーを取り外すとき	10.
続けてエスプレッソを淹れる場合は	11.
カプチーノの淹れかた	12.
器具のお手入れ	14.
仕様	16.
故障かな？と思ったら	17.
おいしいエスプレッソを淹れるには	18.
保証とアフターサービス	19.

4. 安全上のご注意（必ずお読みください）

製品を安全にご使用いただくため、ご使用の前によくお読みください。
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味

⚠警告　この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることをあらわします。図の中や下に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

分解禁止　修理改造、分解をしない。
発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。

禁止　幼児の手の届くところに設置しない。
やけど、けがや感電の恐れがあります。

守る　電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差込が不完全ですと、感電や、ショート、発火の原因となります。

禁止　交流100V以外のコンセントに接続しない。
他の電源に接続すると故障や、発火の原因になります。

禁止　電源コード、コンセント部を水につけたり、水をかけたりしない。
ショートや、感電、故障の原因となります。

禁止　電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステープルで止めたり、重いものを載せたり、そのほか無理のかかることをしないでください。
ショートや、感電、故障の原因となります。

禁止　濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

守る　落下した機器はそのまま使わないで、点検を依頼する。
そのまま使用すると発火や感電の原因となります。

プラグを抜け　煙が出たり、異常なにおいがしたり、異音が出るような場合は直ちに使用を停止する。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。

⚠ 注意

プラグを抜け

使わないときはプラグをコンセントから抜く。
けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。

守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。
断線や、感電、ショート、発火の原因となります。

プラグを抜け

お手入れは必ずプラグを抜いて、十分に冷えてから行う。
やけどや、感電の原因となります。

禁止

使用中、または使用直後は注ぎ口など高温になる場所をさわらない。
やけどの原因となります。

禁止

抽出中はセットしてある容器を外さない。
やけどの原因となります。

禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。
故障の原因となります。

禁止

専用の器具以外は使わない。
火災や、感電、やけどの恐れがあります。

禁止

本来の目的以外に使わない。
故障の原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない。
やけど、けがや感電の恐れがあります。

使用上のご注意

本体の取り扱いについて

●ウォータータンクが空の状態でエスプレッソのスイッチを入れると故障の原因となります。電源がオンになっているときはタンクに水を補充しないでください。補充する場合は、電源をオフにして、約10分間冷ました後補充してください。

●使用中は、皮膚や、コード類が加熱部分に触れないようにご注意ください。

●ウォータータンクには水道水を入れてください。温水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水などは入れないでください。

● ホルダーは電源がオンのときには絶対に取り外さないでください。

● ウォータータンクに水が残っている状態で気温の低いところに放置すると、タンクの水が凍って故障の原因となります。タンクの水は空の状態で保管してください。
ウォータータンク内に水が残っている場合は、残ったタンクの水を取り除いてください。

6. 各部の名前

本体

STEAM（スチーム）ボタン/
スチーム表示ランプ

ON/OFF（オンオフ）ボタン/
電源表示ランプ

ESPRESSO（エスプレッソ）ボタン/
エスプレッソ表示ランプ

ウォータータンクカバー

ウォータータンク

蒸気調節つまみ

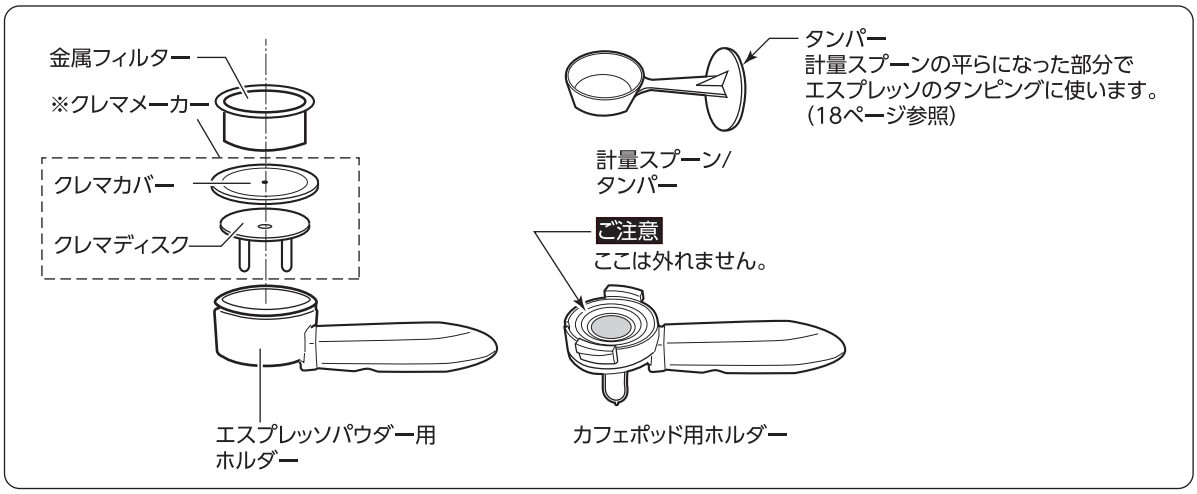
濾過網

蒸気ノズル

トレイカバー

トレイ

付属品



※クレマメーカー
クレマディスクにクレマカバーを取り付けた状態をクレマメーカーといいます。
清掃などで、クレマディスクとクレマカバーを取り外したときは十分乾燥させた後、必ず正常に取り付けておいてください。
金属フィルターおよびクレマメーカーは、エスプレッソパウダー用ホルダーに組み込まれています。

ご使用の前に（必ず実行してください）

本機は金属部分のサビ止めのため、出荷時にエスプレッソパウダー用ホルダーとカフェポッド用ホルダー、および抽出口に植物性のオイルが塗られています。お使いになる前に次の手順で取り除いてください。
（使われている植物性オイルは人体に無害です。）

①ホルダーを薄めた中性洗剤で清浄した後、十分に水で流します。
②抽出口は、薄めた中性洗剤をしみこませた布などで拭き取った後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ります。（洗剤が残らないように何度も拭き取ってください。）
③8ページ「エスプレッソコーヒーの淹れかた」を参考に、コーヒーを入れずに抽出操作をして、内部や、フィルターホルダーを清浄します。

コーヒーを淹れる前に必ず確認してください

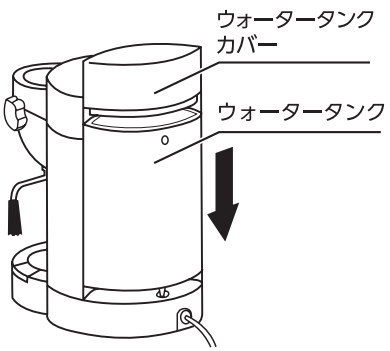
設置場所の確認をしてください。

●電気製品、精密機械の上に置いていませんか?
水滴や、水蒸気などで、下に置いた機器が故障する恐れがあります。
●水滴、お湯などで変色、変形などの恐れのあるものの近くや、不安定な場所に置いていませんか?
水滴がかかって変色したり、本機が落下したりして故障する原因となります。

「蒸気調節つまみ」は完全に閉まっていますか?

コーヒーを淹れる前に蒸気調節つまみを完全に閉めてください。
「STEAM（スチーム）」ボタンが押されていないことを確認してください。
押されていた場合は「STEAM」ボタンをオフにして5分ほど待って、温度を下げてください。

ウォータータンクを取り付けます



図のように本体にウォータータンクと
ウォータータンクカバーを取り付けます。

重要 ずれないようにしっかりと取り付けてください。

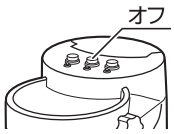
8. エスプレッソコーヒーの淹(い)れかた

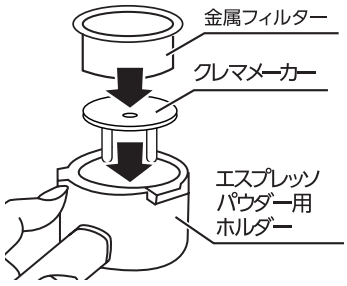
エスプレッソとは

専用の豆を、エスプレッソマシーンで、圧力をかけ短時間で抽出した、コクのある味と香りの深い、濃いコーヒーです。(エスプレッソ用コーヒー豆→ 18 ページ参照)

エスプレッソパウダーを使って淹れる

初めに電源コードをコンセントに差し込み、電源がオフになっていることを確認してください。
蒸気調節つまみが完全に閉まっていることを確認してください。





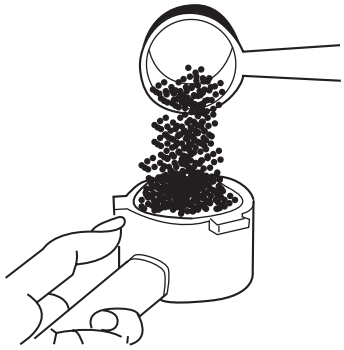
1 クレマメーカーと金属フィルターを図の順番に、エスプレッソパウダー用ホルダーに入れます。

クレマメーカーは右図のようにセットされていることを確認してください。

ヒント

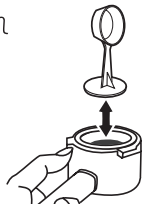
1回に作れる量は

本機は1 回のセットでエスプレッソを2 カップ分作ることができます。エスプレッソ一杯分は約30ccです。



2 エスプレッソ用に挽いたコーヒーを金属フィルターに入れます。標準は計量スプーンにすり切り1杯で1人分です。

粉は計量スプーンでタンピング(少し力を入れて押し固めること)をします。



ヒント

タンピングについて

タンピングのしかたが仕上がりに大きく影響します。「おいしいエスプレッソを淹れるには」(18ページ)をご参照ください。

重要 ホルダーの縁に付いた粉は取り除いてください。(11 ページ「続けてエスプレッソコーヒーを淹れる場合は」参照)

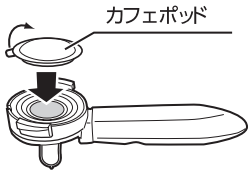
⚠ご注意 エスプレッソパウダー用ホルダーにカフェポッドを入れないでください。

(次ページの手順3に続く)

カフェポッドを使って淹れる

カフェポッドを使うと、よりお手軽にエスプレッソをお楽しみいただくことができます。
カフェポッドでエスプレッソを淹れる場合は、付属のカフェポッド用ホルダーを使います。
使用できるカフェポッドは直径44mmのカフェポッドです。
カフェポッドは1回の操作で1杯分作ることができます。

カフェポッドに取っ手がある場合は折り曲げる



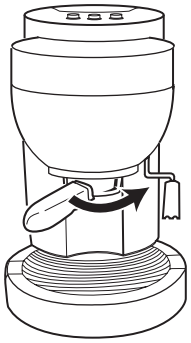
1 カフェポッド用ホルダーにカフェポッドを入れます。

以下の手順はエスプレッソパウダーを使った手順3以降と同じになります。

⚠ご注意 カフェポッド用ホルダーにコーヒー粉を入れないでください。

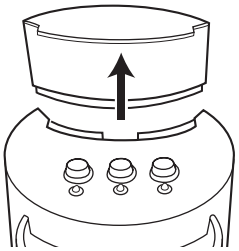
(次ページの手順3に続く)

※ 以下はエスプレッソ用コーヒー粉で淹れる場合と、カフェポッドで淹れる場合の共通の手順です。

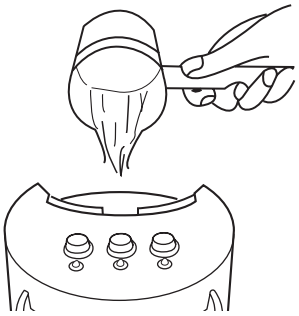


3 ホルダーを本体の「UNLOCK（アンロック）」の位置から本体に差し込み、「LOCK（ロック）」方向にしっかりと強く回してください。

重要 コーヒーが薄い、ホルダーのわきからお湯がもれる、などの場合は:
密着度を増すために、ホルダーをしっかり止まるまで、より強めに締めます。



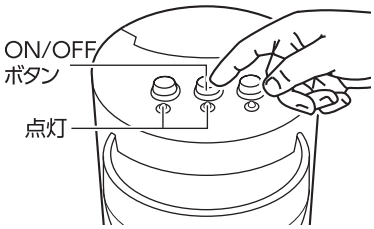
4 ウオータータンクカバーを矢印の方向に取り外します。



5 お手持ちのカップなどを使ってウォータータンクに十分な水を入れ、ウォータータンクカバーを元通り取り付けます。

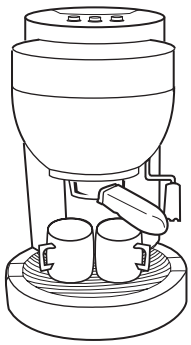
ウォータータンクはきちっとはまるまで、しっかりと差し込んでください。

⚠ご注意
- タンクに刻まれた「MAX（マックス）」のライン以上には絶対に水を入れないでください。
- 本機を使用中は、絶対にタンクへの給水はしないでください。必ず電源が「オフ」の状態で給水してください。



6 「ON（オン）/OFF（オフ）」ボタン押して電源を入れます。

電源表示ランプとエスプレッソ表示ランプの両方が点灯します。



7 受け皿の上にカップを置きます。

本体にセットしたホルダーの注ぎ口の位置に合わせて、1カップなら中央に、2カップならそれぞれの注ぎ口の下に収まるように置きます。

ヒント 設置状況などにより、左右の注ぎ口から均等に出ない場合があります。

カップの容量
エスプレッソ1カップ分（デミタスカップ）は約30ccです。

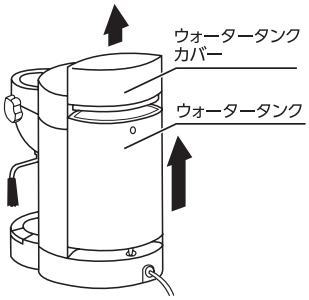
⚠ご注意 カフェポッドホルダーの注ぎ口は1箇所のみです。

（次ページに続く）

8 **注ぐ準備が完了すると、エスプレッソ表示ランプが消灯します。**

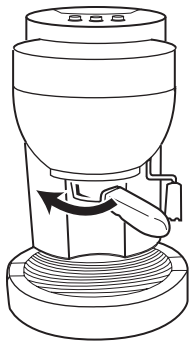
重要 「ESPRESSO」ボタン（エスプレッソ抽出ボタン）を押すとカップに注がれます。
お好みの量になったら、もう一度「ESPRESSO」ボタンを押すと止まります。（適量で自動的に止まることはありません。OFF後もしばらく滴下しますが、故障ではありません。）

ヒント エスプレッソ抽出中は、ポンプの動作音が大きくしますが、故障ではありません。



9 **残った水を取り除きます。**
使用し終わってもウォータータンクに水が残っている場合は、ウォータータンクを本体から取り外し、残った水を捨てます。

ホルダーを取り外すとき



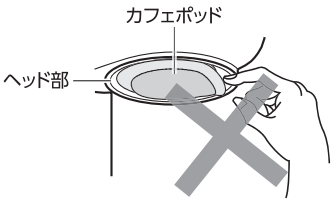
ホルダーのレバーを「UNLOCK（アンロック）」の位置まで左に回して取り外します。

⚠ご注意

1. 使用後は蒸気が残っているかどうか次の手順で確認してください。
   ① 電源がオフになっていることを確認して、電源プラグを抜く。
   ② 水の入ったカップに蒸気ノズルを入れる。
   ③ 蒸気調節つまみを回して、蒸気を全て排出する。
   ④ 排出し終わったら、蒸気調節つまみを閉める。
   金属部分に余熱が残っている場合があります、十分ご注意ください。
2. トレイにカップが載っている場合は先に外してください。ぶつかって破損する恐れがあります。

ヒント ホルダーを外すとき中にコーヒー液が残っていることがあります。周りを汚さないように注意して取り外してください。また、エスプレッソパウダー用ホルダーの金属フィルターの中にお湯が残ることがありますが、故障ではありません。

カフェポッドを取り外すとき ⚠やけどにご注意



ホルダーを外すとき、カフェポッドがヘッド部に付着したままになることがあります。
このときは素手でカフェポッドを外さないでください。エスプレッソ抽出直後はヘッド部や、カフェポッドが高温になっているため、やけどする恐れがあります。スプーンや、箸などを使って外してください。

続けてエスプレッソを淹(い)れる場合は

1 ホルダーを取り外し、金属フィルター内のコーヒー粉を空にします。

カフェポッドをご使用の場合は、ヘッド部に付着していないか確認（10ページ「カフェポッドを取り外すとき」参照）します。

⚠ご注意 エスプレッソ抽出直後はヘッド部やホルダーの金属部が高温になっているため、やけどする恐れがありますのでご注意ください。

2 ウォータータンクに十分水が入っていることを確認して、8ページからの手順で繰り返してください。

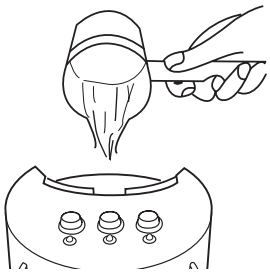
重要 ホルダーを本体にセットする前に、ホルダーの縁や本体の濾過網周辺に付いた粉は取り除いてください。

重要 **ポンプの音が大きく、ウォータータンクの水を吸い込まない、エスプレッソが抽出されない場合は・・・・・**

1. エスプレッソボタンをonにします。
2. 半分くらい水を入れた大き目のコップを用意して、水の中に蒸気のノズルを入れます。
3. 蒸気調節つまみをゆっくり回して蒸気を出してください。（急に噴出させないよう、ゆっくり回してください。やどにご注意ください。）
4. 水タンクの水が減り始める、もしくはポンプの音が小さくなると、蒸気調節つまみを閉めます。
5. その後、ボイラーが満水になると抽出されます。

12. カプチーノの淹(い)れかた

カプチーノ、マキアートなどに使うミルクフォームを作ることができます。
ミルク(牛乳)は成分無調整、カルシウムなど添加物のない普通のミルクをお使いください。
大きめのカップ(ステンレス製が良い)に、ミルクフォーム用の新鮮なミルクを1/3 程度と、同じくカップに1/3 ぐらいの水を用意します。(水は蒸気の準備に使います。)



1 8ページ～10ページ「エスプレッソコーヒーの淹れかた」の手順 **1** ～手順 **8** を行い、エスプレッソコーヒーを入れます。

重要 9ページの手順 **4**、**5** にしたがってウォータータンクに水を入れてください。スチーム用の水、コーヒー粉に吸われる水も必要ですのでたっぷりとお入れください。

⚠ご注意 ウォータータンクに刻まれた「MAX(マックス)」のライン以上には絶対に水を入れないでください。

準備ができると消灯します。

2 スチームの準備をします。

①「ON/OFF」ボタンが押されていることを確認する。
電源表示ランプとエスプレッソ表示ランプの両方が点灯します。

②「STEAM(スチーム)」ボタンを押す。

③-1：エスプレッソ表示ランプが点灯します。
スチームの準備ができると消灯します。

③-2：スチーム表示ランプが点滅します。
スチーム表示ランプは「STEAM」ボタンが押し込まれている間は常に点滅しています。

⚠ご注意
- 蒸気調節つまみが完全に閉まっていることを確認してください。
- 蒸気ノズルが取り付けられていることを必ず確認してください。

3 蒸気ノズルを水の入ったカップにひたし、蒸気調節つまみを半回転ほど回して、2～3秒蒸気を発生させます。

はじめは、蒸気の出かたが不安定ですが、すぐに安定します。蒸気調節つまみをいったん完全に閉めます。うまく閉まらない場合は押しながら回してください。

ヒント はじめはお湯が出ることがあります。やけどをしないように、また、ミルクが薄くならないようにお湯は捨ててください。
蒸気ノズルをカップの水に深めに入れて蒸気調節つまみをゆるめてください。

4 蒸気ノズルをミルクの入ったカップにひたし、蒸気調節つまみを回してミルクを泡立てます。

ミルクは冷たいものをご用意いただき、カップ1/3ほど入れてください。
お好みに応じて20秒程度泡立てた後、蒸気調節つまみを完全に閉めます。

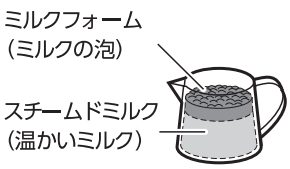
重要 ミルクは沸騰させないでください。
ミルクの表面に大きめの泡ができ始めたら、沸騰しています。
おいしいミルクフォームは60～65℃位です。

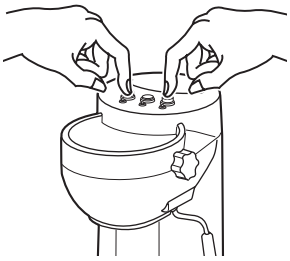
⚠ご注意 スチームのみの連続使用はしないでください。故障の原因となりますので、必ずエスプレッソの抽出と交互に行ってください。

5 **泡立てたミルクフォームとスチームドミルクを手順 1 で入れたエスプレッソに注ぎ、カプチーノの出来上がりです。**

ヒント

標準的なエスプレッソとミルクの割合
エスプレッソとミルクの割合はお好みにより調整してください。
一般的には、エスプレッソ1に対し、スチームドミルク1、ミルクフォーム1の割合が多いようです。

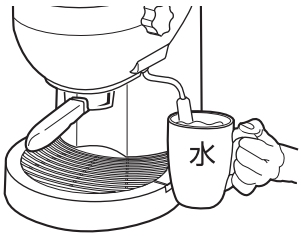




6 **「ESPRESSO（エスプレッソ）」ボタン、「STEAM（スチーム）」ボタンをオフにします。**

重要

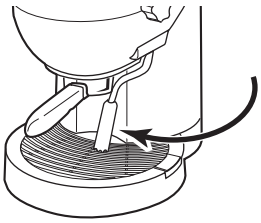
STEAMボタンをオフにしたあと5分以上あいだを開けてからエスプレッソ抽出をしてください。また、この間はホルダーも外さないでください。ボイラー内が高温になっていますので、コーヒーが飛び散ったりすることがあります。



7 **温かいうちに、もう一度半分ぐらい水の入ったカップを蒸気ノズルにセットして蒸気調節つまみを全開にし、ノズル内に付着したミルクを取り除きます。**

終了したら、安全のためノズルを内側に向けておいてください。

電源をOFFにしたあとも、その状態で残った蒸気を全て排出させます。



重要

- ●ミルクが残留していると衛生的に良くないばかりでなく、目詰まりして故障の原因となります。
- ●まれにスチームの出ているパイプにミルクが吸い込まれることがあります。
- ●残ったスチームを勢いよく出して、吸い込まれている可能性のあるミルクを吹き飛ばしてください。

⚠ご注意

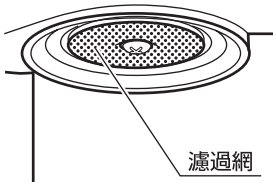
- ●ミルクフォームのみ連続して作ることはしないでください。
  エスプレッソの抽出をしないでミルクフォームを作り続けると、ボイラーが空だき状態となり、故障の原因となります。
- ●STEAMボタンをオンにしたままエスプレッソ抽出は絶対にしないでください。
  エスプレッソ抽出温度が異常に高くなってしまいます。

8 **ご使用後は全てのボタンをオフにし、電源プラグを抜いてください。**

14. 器具のお手入れ

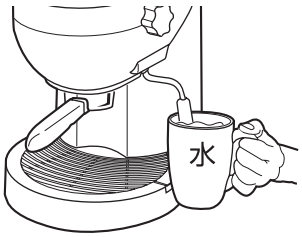
本体の清掃について（ご使用後に毎回実施してください）

本体の清掃をする前に、電源をオフにし、電源プラグを抜いて、十分に熱を冷ましてください。
清掃をするときは、水で湿らせた布で、本体や、濾過網に付着したコーヒーの粉など、ていねいに拭きとります。ウォータータンクに水が残っている場合は、水を捨ててください。（10ページ手順 9 の操作をします。）



重要　本体を水や、他の液体に浸したりしないでください。
また、湿らせた布で拭くときも、シンナーや、アルコールなどの薬品を使用しないでください。

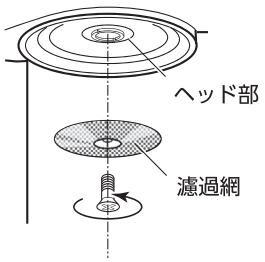
蒸気ノズルの清掃（ご使用後に毎回実施してください）



蒸気ノズルを使用した後は、水の入ったカップを蒸気ノズルにセットし、蒸気調節つまみを全開にしてノズル内のミルクを取り除いてください。（「カプチーノの淹れかた」（13 ページ）の手順 7 参照）万一ミルクの詰まりが生じた場合は針や、ようじなどでていねいに取り除いてください。

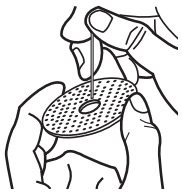
エスプレッソ部の水垢の除去

ご使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回を目安にエスプレッソ部の水垢の除去を行ってください。

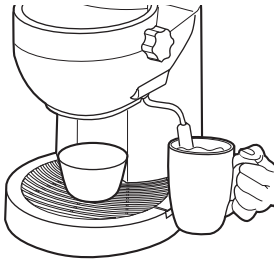


1 エスプレッソ部のヘッドに付いている濾過網のネジをプラスドライバーを使って取り外します。

重要
- ネジが固くなっている場合があります。ネジ山を崩さないように気をつけて取り外してください。
- けがをしたり、本体を傷つけないよう注意して取り外してください。



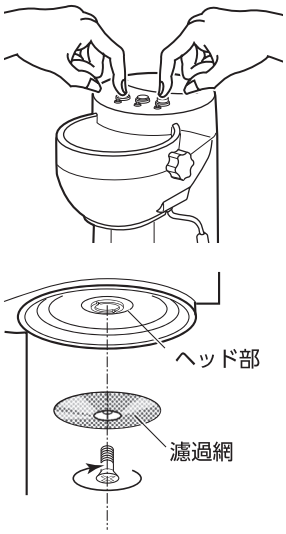
2 ヘッド部と濾過網についているコーヒー粉をていねいに取り除きます。



3 280ccのぬるま湯に対し、大さじ2杯分のクエン酸を溶かし、ウォータータンクに注ぎます。

空のカップと大きめの容器を用意して、大きめの容器をヘッドの下へ、空のカップを蒸気ノズルの下にセットします。
（ホルダーは外したままです。）

ヒント　クエン酸は、ショ糖を原料とした食材で、天然の　実などにも多く含まれるものです。クエン酸は、コーヒー器具売場や、薬局などで購入することができます。



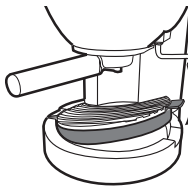
4 ① 「ESPRESSO（エスプレッソ）」ボタンと「STEAM（スチーム）」ボタンをオンにします。
② 蒸気調節つまみを開にします。
蒸気ノズルから、蒸気が出始めてから、約30秒ほど出し続けます。

5 蒸気調節ツマミを閉め、「STEAM」ボタンをオフ、「ESPRESSO ON/OFF」ボタンをオンにします。「ESPRESSO READY（レディー）」表示ランプが点灯したら「ESPRESSO READY」ボタン（エスプレッソ抽出ボタン）を押してヘッド部に溶液を流します。

6 溶液を出し切ったら電源をオフにして、本体をさました後、もう一度手順 **3**～**5** を繰り返します。

7 最後にクエン酸溶液の代わりに水を入れ、手順手順 **3**～**5** を繰り返し、十分さました後、濾過網を元通り取り付けます。

トレイ、エスプレッソパウダー用ホルダーの清掃



トレイ・トレイカバーは取り外して清掃してください。

エスプレッソ用金属フィルターは軟らかい歯ブラシなどで詰まった穴をていねいに清掃してください。

ヒント ホルダーの内部を取り出すときに金属フィルターが取り外しにくい場合があります。
十分にご注意ください。

⚠ご注意 エスプレッソパウダー用ホルダー、カフェポッド用ホルダーは食器洗い乾燥機に入れないでください。金属部分が茶色く変色することがあります。

16. 主な仕様

種類	エスプレッソ式
保温機能	無し
本体寸法	幅 220 × 奥行き 325 × 高さ 315（mm）
電源コード長	1.3m
本体質量	3.8 kg
定格電圧/定格周波数	100V　50/60 Hz
定格消費電力	1100W
タンク容量	1.2 L
付属品	・エスプレッソパウダー用ホルダー ×1 ・下記はエスプレッソパウダー用ホルダーに内蔵されています。 ①クレマメーカー ×1（クレマディスク×1、クレマカバー×1） ②エスプレッソパウダー用金属フィルター ×1 ・カフェポッド用ホルダー ×1 ・計量スプーン/タンパー ×1

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

故障かな?と思ったら

17.

機器が動作しないなどの 故障かな?
と思われる症状があるときは、まず下の表の原因をご確認ください。
症状が改善されない場合、《デバイスタイル カスタマー サポートセンター》に
直接ご連絡ください。

0570-067788

症状	原因
電源が入らない。	● 電源コードがコンセントにキチッと差し込まれていない。
エスプレッソがホルダーから漏れ出す。	● エスプレッソパウダー用ホルダーが正しく装着されていない。 ● ヘッド部、濾過網が汚れている。(清掃してください。) ● コーヒー粉がホルダーの縁に付着している。
抽出後もポタポタと滴下する。	●フィルターホルダー内のコーヒーが滴下しているためで故障ではありません。
エスプレッソが出てこない。	● ウォータータンクに水が入っていない。 ● エスプレッソパウダー用ホルダーにコーヒーが入っていない。 ● コーヒーの挽きが細かすぎる、または強く固めすぎてフィルターが詰まっている。
ポンプの動作音がせず、エスプレッソが出てこない。	● 内部ヒューズが切れている。 (デバイスタイル カスタマー サポートセンターにご相談ください。)
蒸気が蒸気ノズルから出ない。	● ウォータータンクに十分な水が入っていない。 ● 蒸気ノズルが詰まっている。 ●「STEAM(スチーム)」ボタンが押されていない。 ● 蒸気調節つまみを回していない。
ミルクが十分に泡立たない。	● 蒸気ノズルが詰まっている。 ● 蒸気調節つまみの開きが少ない。 → 開きが少ないと蒸気の勢いが不足します。 ● ウォータータンクに十分な水が入っていない。 ● ミルクが十分に冷たくない。 ● ミルクの鮮度が低い。 ● たこ足配線になっている。(電源は壁のコンセントからとってください。) ● 無脂肪乳が使われている。
エスプレッソパウダー用ホルダーがはまらない。	● エスプレッソパウダー用ホルダーが正しく装着されていない。 ● ヘッド部、濾過網が汚れている。(清掃してください。)
抽出したエスプレッソの温度がぬるい。	● たこ足配線になっている。(電源電圧が下がり、ぬるく抽出されることがあります。電源は壁のコンセントからとってください。)
コーヒーがぬるい。	●コーヒーの飲み頃温度は65℃～80℃です。本機はおいしく抽出し、飲み頃の温度に仕上がるように設計されています。より熱い温度をお好みの場合は別の容器で温めてお飲みください。
本体に水滴が付く	● 外気温が低い時など、連続してコーヒーを淹れた場合などに蒸気が発生し本体に水滴が付く場合があります。乾いた布で拭き取ってください。

18. おいしいエスプレッソを淹(い)れるには

本機を使えば誰でも手軽においしいエスプレッソを淹れることができます。とはいえ、おいしいエスプレッソを作るには基本的に守らなければならない事柄があります。
そのうえで、工夫を重ねていくことにより、すばらしいテイストに仕上げていくこともできます。
ここでは、おいしいエスプレッソを淹れる基本的なことについてご説明いたします。

エスプレッソ用のコーヒー豆について

エスプレッソの出来は豆によってほとんど決まってしまいます。
どのような豆を使うかは大変重要です。

焙煎　通常は焙煎してある豆を購入されることになりますが、エスプレッソ用に深煎りした（イタリアンローストなどの）新鮮な豆を使います。できればその場で焙煎してくれるショップや、受注後焙煎して発送してくれるインターネットショップなどを利用するのも良いでしょう。

ミル　挽き方は、エスプレッソマシン用にパウダー状に挽いたものを使います。デバイスタイル「Bruno-passoコーヒーグラインダー　GA-1X」など市販されているコーヒーミルで挽くことができます。中にはサイホンやドリップを想定しているため、あまり細かく挽くことができない機器もあるようですのでご注意ください。またはコーヒー豆の販売店で豆を購入する際に「エスプレッソマシン用」に挽いてもらうとよいでしょう。

鮮度　いくら良い豆を使っても鮮度が落ちるとおいしくなりません。必要最小限の量を購入して新鮮な内に使い切るようにしてください。

カップを選びましょう

一般的にエスプレッソを一度に大量に飲むことは少ないため、カップも小さめの"デミタスカップ"を使います。大きいカップに少量のコーヒーを入れると冷めるのが早くその分味も早く落ちることになります。

タンピングについて

コーヒー粉を金属フィルターに入れた後トントンと表面を平らにし、付属計量スプーンの平らになった部分（タンパー）を使って、少し力を入れて押し固めます。（これをタンピングと言います）。
タンピングで仕上がりが大きく変わります。何回か試してみて、コツをつかんでください。また、豆の焙煎が浅いとき、挽きが荒いときや、鮮度が比較的悪いときは強めに押す、などのテクニックもあるようです。

ミルクフォームを作るとき

ミルクを泡立ててきめの細かいクリーミーなミルクフォームを作りましょう。

蒸気の通しかた

蒸気を通すときは、蒸気ノズルから出る蒸気が安定してからミルクに通すようにします。（12ページの手順3を参照してください。）
また、はじめは蒸気ノズルをミルクの表面近くでスチームすると、きれいな泡ができます。泡立ったら、今度はミルクの奥に入れて、蒸気で温めます。

十分に冷えたミルクを使う。

ミルクはあらかじめ、冷蔵庫で冷やしたものをお使いください。

新鮮なミルクを使う

カプチーノなどはコーヒーよりも多い量のミルクを使うことになります。そのため、使用するミルクの種類（成分の調整、添加物など）や、鮮度にも十分気を使ってください。成分無調整で添加物のないミルクをお使いください。

保証とアフターサービス

19.

保証書

●保証書は販売店にて所定事項（販売店名、お買上げ年月日など）を記入もしくは、保証書添付レシートを印字してお渡ししますので、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
●保証期間はお買上げ日から1 年間です。保証対象は機器本体のみです。
（保証期間中でも有償修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
●保証期間中は保証規定に従い無償修理いたします。
●保証期間が経過している時はお買上げの販売店又はデバイスタイルカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有償修理いたします。

修理を依頼されるとき

保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。保証期間外でも、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償にて修理いたします。

ご不明な場合は　アフターサービスについてご不明な場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

・ お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答にのみ利用いたします。
・ 利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
・ 取得した個人情報は、法令に基づき開示・提供を求められた場合を除き第三者に提供することはありません。

＜ご注意＞ 保証期間中であっても機械の取扱い不備、改造、加工、仕様変更、いたずらなどによる修理や消耗品の交換の場合は有償となりますのでご注意ください。

デバイスタイルカスタマーサポートセンター

0570-067788

email ：customer.support@devicestyle.co.jp
URL　：http://www.devicestyle.co.jp/

お問い合わせは弊社ホームページの「お問い合わせフォーム」が便利です。

受付時間：月曜～金曜9時30分～17時30分（年末年始、夏季休暇を除きます。）

交換部品について

下記の交換部品を用意しております。
お求めはデバイスタイル製品販売店にお申し付けください。

部品名	部品番号	備考
エスプレッソパウダー用ホルダー	THW-EH	ホルダー、クレマメーカー、金属フィルターがセットされたものです。
カフェポッド用ホルダー	THW-CH	
蒸気ノズル	TNB-01	

保証書

品番	TH-W030
お買上げ日	年　　月　　日
保証期間	お買上げ日から1年間
お客様	〒　　― ご住所
	お名前
	電話番号　　―　　―
販売店名	

保証規定

1.保証期間中に正常な使用状態において、万一故障した場合には無償で修理いたします。
2.修理はお買上げの販売店又はデバイスタイルカスタマーサポートセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上ご相談ください。
3.ご贈答、ご転居の際は、お買上げの販売店又はデバイスタイルカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. 次のような場合、保証中でも有償修理になります。
●火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷など天災地変による故障や損傷。
●指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
●お買上げ後の落下、移動など運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
●保証書の提示がない場合。
●保証書にお客様名、お買上げ日、販売店名の記入がない、または字句を書き換えられた場合。
●一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
●使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
●不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
6. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

個人情報の取り扱いについて

保証書にご記入いただきました個人情報（氏名・住所・電話番号）につきまして以下の通り取り扱いいたします。
■利用目的:記載された個人情報は本製品にかかわる業務においてのみ利用します。
■取得した個人情報は、法令に基づき開示・提供を求められた場合を除き第三者に提供することはありません。

ご注意： 保証については「アフターサービスについて」のページで重要な内容と事柄をご覧いただけます。事前にご一読いただきますようお願いいたします。

愛情点検

長年ご愛用のエスプレッソマシンの点検を

こんな症状はありませんか

■電源プラグやコードが触れられないほど熱くなる
■電源プラグやコードに深い傷や変形がある
■こげくさい臭いがする
■ビリビリと雰囲気を感じる
■その他の異常故障がある

ご使用中止

電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買上げの販売店又はフィフティ新潟SCに点検をご相談ください。

サービスや修理に関するご相談

デバイスタイルカスタマーサポートセンター

0570-067788

平日午前9時30分～17時30分

販売元
株式会社デバイスタイルマーケティング

輸入事業者
株式会社デバイスタイル
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番10号
ストリーム市ヶ谷
http://www.devicestyle.co.jp/

部品番号:THW030-IB-300